



# 家庭菜園向け ピーマンの栽培



推奨品種  
とんがりパワー

## POINT!

ピーマンは苦味があるため子供には嫌われることも多いが、ビタミンAやビタミンC、カロテンなどの栄養素を多く含むので、家族の健康を気づかって、あの手この手で食べさせようとする母親と、いやがる子どもとの根くらべが続いてきました。しかし、最近では、大部分の品種はくせのない味に改良され、とても食べやすくなりました。さあ、栽培を始めましょう!!

## 畑の準備

1㎡あたり完熟堆肥と腐葉土を約2kgずつ投入し、すき込みます。肥料は畑により加減しますが一般的には化成肥料1㎡あたり100g(8-8-8の場合)程度、骨粉100g、pHの調整が必要な場合は苦土石灰などで酸度の調整をしておきます。

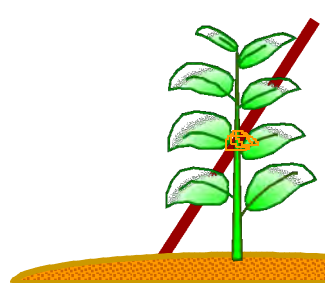
畝幅60cm～80cm程度の畝(一条植え)を立てます。ピーマンは高温を好みますので、地温確保と防草を兼ねて黒マルチを張っておきます。



15 以下では生育しない。寒さはキライ!

## 定植

畝の中央に四本仕立ての場合、株間80～90cm(二本仕立ての場合50cm)間隔で定植します。風等でぐらつかないように仮支柱を斜めに挿し縛っておきます。又、霜の心配がある場合はホットキャップやトンネルなどがオススメです。



仮支柱



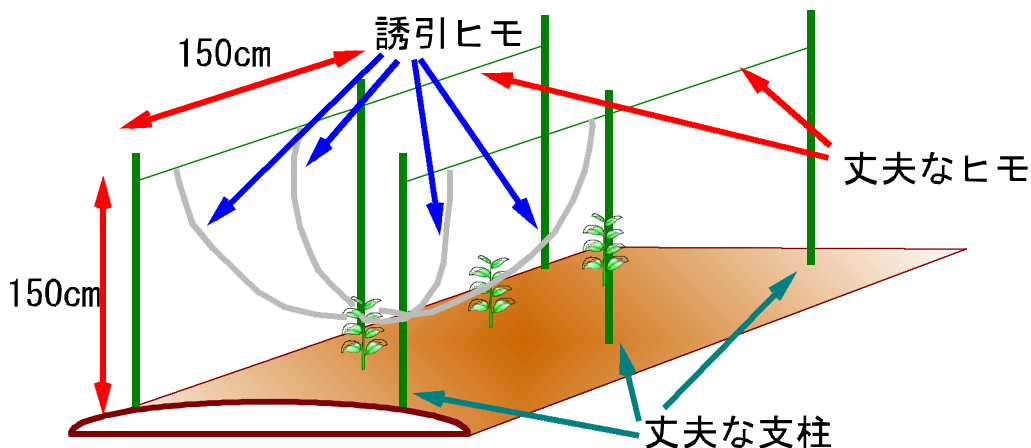
ホットキャップ



トンネル

## 支柱立て

霜の心配がなくなりキャップやトンネルを除去出来るようになったら、本支柱を立てます。支柱の立て方は好みですがX・Y字仕立てになりますので、下記に一例を挙げておきます。四本の枝を誘引ヒモに絡ませながら真上から見て「X」になるようにすると管理しやすいです。(二本仕立ての場合は横から見て「Y」になるように誘引します。)



誘引の仕方はお好みで！でも着果し始めたら支柱を立てないと果実の重みで枝が折れてしまう時があるよ！



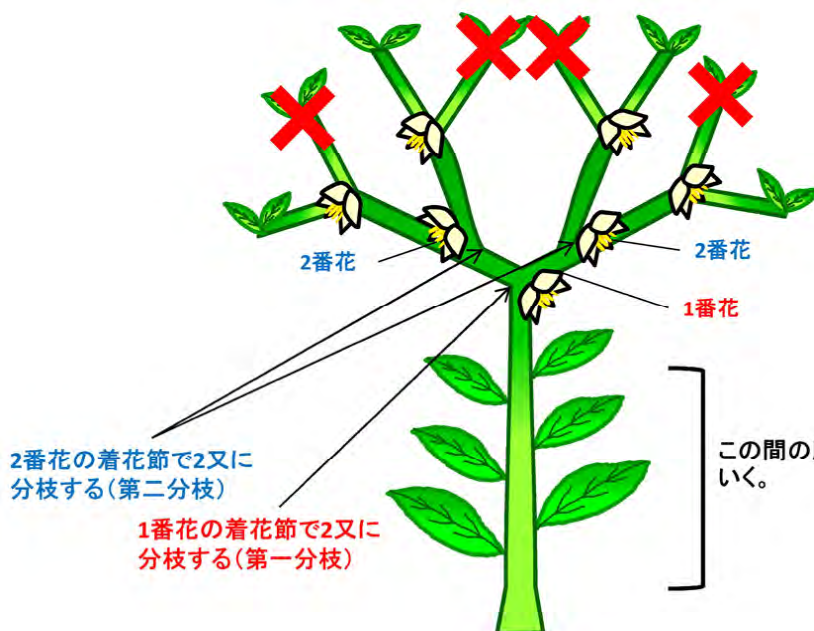
## 定植後の管理

定植後、草勢が安定したら、第一分枝までの脇芽を除去します。

四本仕立てにする場合は、第二分枝の枝を主枝にします。

着果は基本的には4番花からとし、3番花までは摘花します。

弱い枝や徒長した枝に着果させると変形果の原因になりますので、注意してください



ピーマンは枝の節に花が咲くよ！

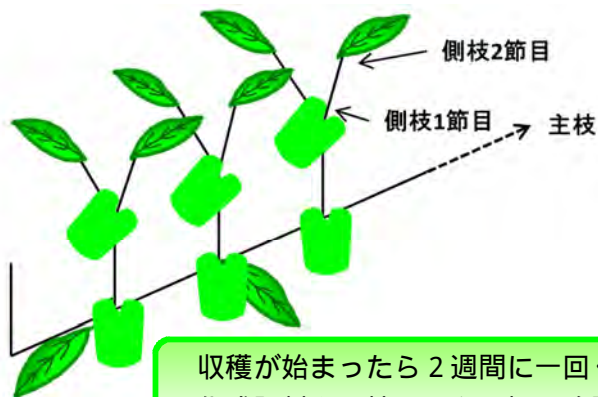


枝は節で二股に分かれるのがピーマンの特徴です。

この間の脇芽は除去していく。

## 整枝の仕方

着果節以降の整枝は、側枝の1節目に着果させ、2節目で成長点を除去する。  
側枝には基本的に1果だけ着果させる。



整枝するとき、「主枝と側枝」迷いますね。どっちを切るか迷ったら、太い方を残しましょう。同じくらいの太さだったら・・お好みで～



収穫が始まったら2週間に一回くらい化成肥料を一株につき一握り追肥しましょう！

## 収穫

果実が大きくなってきたらよいよ収穫！花が咲いてから20日位が目安。あまり欲張らずにどんどん収穫しよう！

## Point

肥料不足・乾燥・着果過多・強整枝は草勢低下の原因になります。こまめな追肥・灌水で草勢の安定化に十分注意してください。



長く収穫を楽しむには草勢の安定が大切！木が疲れてきたら思い切って小さな果実でも収穫してしまいましょう！木の負担がぐっと軽くなるよ！ 追肥も忘れずに～

# Congratulations!!



さあ、次はどのピーマンにトライする？



ナント種苗株式会社

TEL 0744-22-3351

家庭 de 菜園

う え ぶ た ね や さ ん

<http://www.kateidesaien.jp>

家庭de菜園

検索